

「本学会会員が関わるクリニック」に対する日本麻酔科学会の見解

公益社団法人 日本麻酔科学会

理事長 内田 寛治

安全委員長 原 哲也

本学会会員が関わるクリニックにおいて、全身麻酔薬であるケタミンを使用して、難治性うつ病、慢性痛、心的外傷後ストレス障害、心の成長や変容などに有効であると誤解を受けるような広告をうたっていると、複数の会員から報告を受け、この件に関する調査を開始しました。

ケタミンは、手術や処置を行う際に使用する全身麻酔薬であり、医療用麻薬に指定されており、厳格な管理と適切な使用が求められます。現時点では、ケタミンの難治性うつ病、慢性痛、心的外傷後ストレス障害、心の成長や変容などに対する効果は広く認められたものではなく、本学会は、患者の安全性が損なわれる危険性を鑑みこれらの使用法は推奨いたしません。

本学会は、今後も「麻酔科医は、患者の生命維持に直接かかわる職務」であることの自覚を促し、麻酔薬や医療機器の厳格な管理と適正な使用指導に努めます。